

【会情報】

【会員企業ご訪問 : Vol 144】

新生化学工業株式会社（京滋支部）

今回は、滋賀県大津市にある新生化学工業(株)の代表取締役社長 宮田 陽一様を訪ねました。



宮田 陽一社長

本社住所	滋賀県大津市蓮池町 6 番 12 号
電話/FAX	077-524-7101/077-524-6093
資本金	3,300 万円（グループ合計 8 億円）
創業	昭和 38 年 4 月
設立	昭和 40 年 7 月
成形機	120 台 (40t 以下 7 台、50t～75t 24 台、 100t～180t 87 台、220t 以上 2 台)
従業員数	240 名 (グループ全体 600 名)

会社の沿革

当社は昭和 38 年にエアゾール用バルブの開発に成功して以来、エンジニアリングプラスチックの発展と共に成長を遂げ、ガスコンセント『カチット』をはじめ種々のヒット製品開発に取り組んでまいりました。会社の沿革は次の通りです。

- 1963 年 4 月 創業者宮田庸生がエアゾール部品の開発により滋賀県大津市にて事業開始
- 1966 年 6 月 ガスコンセント『カチット』を共同開発
- 1972 年 11 月 兵庫県豊岡市に豊岡工場を設立
- 1989 年 11 月 滋賀県高島市に新旭工場を新築移転
- 1995 年 9 月 滋賀県大津本社隣接地に市場開発研究所設立
- 1996 年 4 月 国内にて ISO9002 認定取得
- 1996 年 6 月 アメリカ・ジョージア州に Shinsei Corporation Co., Ltd を設立
- 1999 年 4 月 国内にて ISO14001 認証取得
- 2000 年 4 月 国内にて ISO9001 認証取得
- 2000 年 9 月 兵庫県豊岡市に豊岡事業部を新築移転
- 2005 年 4 月 代表取締役に宮田陽一が就任
- 2007 年 11 月 Shinsei Molding Co, Ltd. をタイ・チョンブリ県ピントン工業団地に設立登記
- 2008 年 4 月 近畿経済産業局より『KANSAI モノ作り元気企業 2008』に選ばれる



本社外観



工場の様子

2008 年 9 月 厚生労働省所管 21 世紀職業財団滋賀事業所より『職場風土改革推進事業主』に指定
2009 年 12 月 Shinsei Molding(タイ)にてISO9001とISO14001を認証取得
2012 年 1 月 PT. Global Shinsei Indonesia をインドネシア・ジャカルタに設立
2012 年 12 月 Global Shinsei Indonesia (インドネシア) にてISO9001とISO14001を認証取得
2013 年 1 月 国内にて医療機器品質マネジメントシステム ISO13485 を認証取得
2013 年 4 月 Shinsei Molding(タイ)にて自動車産業向け品質マネジメントシステム ISO16949 を認証取得
2016 年 8 月 兵庫県但馬県民局より但馬産業大賞を授与
2016 年 11 月 プラスチック成型品への発砲印字法 中小企業長官賞を授与
2017 年 3 月 本社部門にて情報セキュリティマネジメントシステム ISO27001 を認証取得
2017 年 11 月 職業能力開発において厚生労働大臣表彰授与

主な成形品と生産体制

主な成形品は、自動車用部品、電池用部品、電子部品、医療用部品、ホームアプライアンス関連部品等があります。自動車部品では各種センサーや、スイッチなどの外装部品、ミッションやエンジン回りのスーパーエンブラ成形品などが有ります。

電池用部品は、円筒リチウムイオン電池用ガスケット、コイン型ボタン型電池に使われるガスケット、乾電池用ガスケットなど素電池の中に入る機構部品を生産しております。また、電子部品は、マイクロスピーカー・リレー・スイッチ・コネクタなど精密成形金型が必要な成形を行っております。医療関連は、血糖値センサー用トレイやシリンジなどをクラス 10000 のクリーンルーム内にて成形・検査・梱包を行っております。また、ホームアプライアンス用部品としては、ガスコンセントのカチット、床下暖房用樹脂バルブ、浄水器用カートリッジなどの成形・印刷・組み立てなどの二次加工まで一貫体制で行っております。



電池用ガスケット

会社の強み

金型設計・製造、設備設計・製造から樹脂成形、成形品への印刷・組み立ての一貫生産を行えることです。成形は、一般横型成形はもとより、フープ成形、ロータリー成形、2色成形など多様です。また各工場に特徴があり、自社開発のインラインのカメラ検査で全数検査を行うなどの自動化で省人化を行っている工場や、クラス 10000 のクリーンルームにて成形・検査・梱包を行う工場などがあります。一方、アメリカ、タイ、インドネシアに生産販売の拠点が有り、グローバルにお客様への対応が可能というのも特徴です。また、市場開発研究所を有しており、材料から工法などの開発も行っております。

経営理念

当社では、以下の使命、価値観、ビジョンのもとに全社一丸となって業務に取り組んでおります。

使命 「社員と共に栄える」

新生化学工業の使命は、お客様に満足して頂く生産・販売・サービスを行い、社員と共に栄えること

価値観 「一步先の哲学」

新生化学工業は、一步先の哲学で、次代を先読みし、備えるべき課題に対して挑戦します

ビジョン 「魅力ある企業創り」

品質・コスト・スピード・コア技術・グローバル対応においてお客様から魅力ある企業を目指します

健全な経営と社員生活向上を目指す魅力ある企業を目指します

社員と共に栄える

国内では従業員の42%が女性、アメリカ工場では60%、タイ工場とインドネシア工場では70%超が女性となっています。女性であるからといって、品質検査や事務職ばかりというわけではなく、製造ラインや金型加工にも携わってもらっており、本人の希望する職種に就いてもらっています。育児休業を取得しやすい、職場復帰しやすい環境の整備を目標に掲げて、行動計画を策定しており、その効果が表れているのかと思います。

また、社内に人材バンクのような仕組みを設けています。これは一定の勤続年数を経た従業員に働きたい部署の希望を聞き、その部署で空きが出たときに優先して配置転換を行うというものです。人材に不足が出たときに、外部からばかりに頼るのではなく、内部でやりくりができるようにし、長く勤めてもらえるようにしています。

人材育成については、外部研修はもちろん、人材教育が大事な要素となっているので、細かい人材マトリックスを作成し、個々人が目標を達成していけるようにしています。ISOの認証にしても会社のステータスとして取得するだけではなく、実際に有効利用しています。

このような取り組みをしているのは、お客様に満足していただく生産・販売・サービスを行い社員と共に栄えることを当社の使命とし、品質・コスト・スピード・コア技術・グローバル対応において、お客様から魅力ある企業を目指し、健全な経営と社員の生活向上を目指す魅力ある企業となることをビジョンとしているからです。



女性従業員の様子

今後の展望

部品の性能や品質が向上する材料グレードの研究開発と、原価低減のための工法研究を地道に積み重ねて、世の中の一步先に行く技術で、お客様をサポートし続けて行きたいと考えております。

※ 会社を拝見して ※

社員とともに栄えるということで、男女の性別を問わずに業務に就いてもらっていることや、社内の人材バンクのような仕組みというのが印象的でした。会社のビジョンがはっきりと具体化されているのが感じられました。

◎ありがとうございました
取材：事務局 木原、河合

※本記事記載の情報については平成 29 年 10 月 30 日現在のものとなります。

掲載ご希望の方は事務局（06-6214-8300）までご連絡ください。

